声あわせ

JA松本ハイランド

Vol.277
August.2015

特集

後を絶たない農作業事故
ゆとりを持って安全な農作業を！

誌上ショッピング好評掲載中！

8

JA綱領 —わたしたちJAのめざすもの—

わたしたちJAの組合員・役職員は、協同組合運動の基本的な定義・価値・原則（自主、自立、参加、民主的運営、公正、連帯等）に基づき行動します。そして、地球的視野に立って環境変化を見通し、組織・事業・経営の革新をはかります。さらに、地域・全国・世界の協同組合の仲間と連携し、より民主的で公正な社会の実現に努めます。

このため、わたしたちは次のことを通じ、農業と地域社会に根ざした組織としての社会的役割を誠実に果たします。

わたしたちは

1.地域の農業を振興し、わが国の食と緑と水を守ろう。

1.環境・文化・福祉への貢献を通じて、安心して暮らせる豊かな地域社会を築こう。

1.JAへの積極的な参加と連帯によって、協同の成果を実現しよう。

1.自主・自立と民主的運営の基本に立ち、JAを健全に経営し信頼を高めよう。

1.協同の理念を学び実践を通じて、共に生きがいを追求しよう。

あつまれ!フレッシュママさんグループ

「こどもの救急救命法」を学ぶ

管内の若い女性を中心に勉学の機会を提供し、豊かで明るい家庭づくりや将来の地域リーダー育成を目的に開講しているJA松本ハイランド夢あわせ大学「若妻大学」は7月16日、グリンパルで講座「こどもの救急救命法」を開き20人が出席しました。

松本広域消防局渚消防署の救急救命士、田中祐さんが講師を務め、昨年発生した小児救急の内容や対処法を伝えたほか、乳児と幼児の人形を使い、心臓マッサージや人工呼吸の方法を説明。参加者全員が実際に行って手順を確認しました。参加者は「自宅に自分と子どもだけしかいないこともある。学んだことを忘れず、いざというときに落ち着いて行動できるようにしたい」と話しました。

心肺蘇生法を学ぶ参加者

ハイランドキッズ

保育園で歯みがきを習ったよ!

波田・9区

和泉 凛星（りんせい）くん（保育園年少）

日織（ひおり）ちゃん（1歳）

忠幸さん

康子さん

翔太郎さん

弓恵さん

おうちですいかをたくさんつくってるよ。甘くてとってもおいしいんだ。毎日いっぱい食べてるよ!

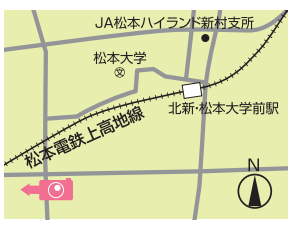
家族からひと言　健康が一番!
元気に大きくなってね

次回は芳川支所管内を予定しています

表紙／ふるさと彩発見

瞬く間に過ぎ行く時の流れのなかで、季節の移ろいだけはわたしたちの心を静かに覆いつくしていく。やがて彼方へ去り行くふるさとの感動をこの誌面に残しておきたい。

撮影場所／新村・南新東
撮影日／2015.7.27
画題／夏空に映える地上の太陽



広報誌「夢あわせ」表紙写真募集!
応募要項はホームページをご覧ください

農業夢追人

里山辺・南小松

小岩井 健司さん

自分で考えて動くことができるからおもしろい

両親のぶどう栽培を幼いころから手伝っていた小岩井さん。「本格的に農業をしようとは思っていなかった」と打ち明けます。その言葉の通り、地元の企業で20年ほど会社勤めをしていました。転機は5年前。不況の影響で業績が悪化したことがきっかけで一念発起し、会社を退職。専業農家の道を歩み始めました。デラウェアを中心に黄華やピオーネなどを栽培。「定年になったら趣味程度にやっていこうと思っていたんだけどね」と笑います。

始めたころは、摘粒や誘引など、これまで経験したことのない作業がほとんどで戸惑いの連続。その都度、両親から指示を受けて行っていました。また、繁忙期には、朝5時から作業を始めるため体力的にもつらい毎日でしたが「少しずつ大きくなっていくぶどうを見ると、自分で育てている実感を持つことができてとてもうれしかった」と当時を振り返ります。

JAが開く講習会には毎年参加し、青年部にも所属して仲間と積極的に情報交換。知識や技術の向上に努めています。「まだわからないことがたくさんある。毎日が勉強だよ」と話し「若い生産者も多く、いい刺激になっている。仲間ががんばっているから、自分もがんばることができる」と言葉に力がはいります。

たい肥をたっぷり使うなど土づくりにこだわった栽培をすすめながら、ナガノパープルやシャインマスカットなど新たな品種の試験栽培にも積極的に取り組む小岩井さん。今年からは、栽培割合などの計画もすべて自分で立てるようになりました。「農業は、自分で考えて動くことができるからおもしろい。毎日が楽しいよ」と農の道を力強く歩みます。

次回は聖南支所管内を予定しています

Profile

両親とともにデラウェア30アール、ピオーネ12アール、黄華3アール、ナイヤガラ2アールなどを栽培。繁忙期には親戚なども加わって作業をすすめる。「農業を始めて生活が規則正しくなった。おかげで、風邪で寝込むこともなくなったよ」と笑い「両親が現役でがんばってくれているから本当に助かっている」と感謝する。

特集

後を絶たない農作業事故 ゆとりを持って安全な農作業を！

農作業中の死亡事故発生件数は、農林水産省が統計を取り始めた昭和46年からほとんど変わらず、毎年350人前後が尊い命を失っています。農業機械は、作業効率や生産性の向上のために必要不可欠なもの。しかし、使い方を一歩間違うと命の危険におよぶ凶器となってしまいます。実際に起きてしまった事故には、気をつけていれば防ぐことができた事例も多くあります。もう一度基本に返り、安全な作業を心がけましょう。

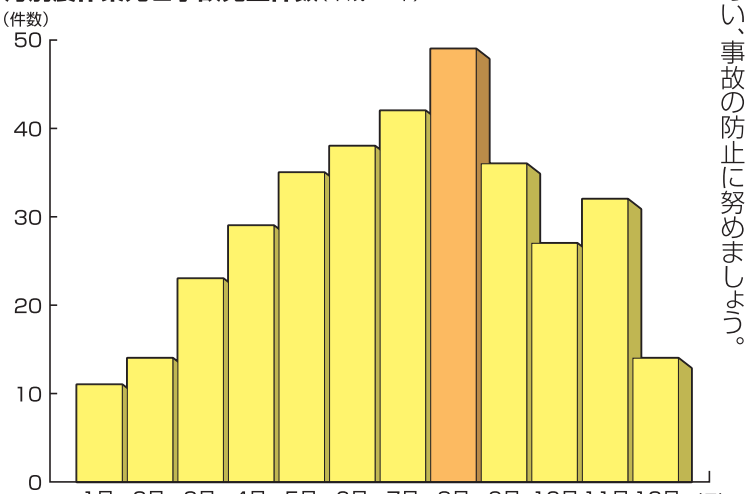
JAでは農作業事故防止のため、農業機械・自動車大展示即売会の会場で安全取扱講習会を開いている（写真:3月22日、あぐり資材センター和田）

夏場は事故が増加傾向

農業機械による死亡事故は、農作業が本格化する4月から急激に増え、夏場にむかって増加しています。

厳しい暑さのなかの作業では感覚が鈍り、反応が遅れたり誤った操作をしたりすることで事故を起こす可能性が高まります。使い慣れた機械でも油断は禁物。家族や仲間同士で声をかけあい、事故の防止に努めましょう。

月別農作業死亡事故発生件数（平成25年）



出典:農林水産省

農作業中の熱中症に注意！

近年、農作業中の熱中症事故が増加し、平成25年度は24人が死亡しています。熱中症の予防には、「水分補給」と「暑さを避けること」が大切。適切な予防を心がけるとともに、作業中に「おかしいな」と感じたら、無理をせずに涼しい場所で休みましょう。

熱中症の予防法

暑さをしのぐ服装

- ●ぼうしの着用
- ●通気性のよい衣類の着用

水分補給・休憩

- ●のどが渇くまえにこまめな水分補給
- ●気温の高い時間は作業をしない
- ●涼しい場所でこまめに休憩

熱中症になりにくい環境づくり

- ●ハウスや畜舎などの換気
- ●遮光や断熱材を利用し、温度上昇を防止

農作業事故情報

出典:農作業安全情報センターホームページから引用

2014年5月 60代女性 歩行型トラクター

事故の状況
後進時につまずき、倒れたところをロータリに巻き込まれた(左腕、左足)。骨折、打撲、裂傷などの重傷。

推測される事故原因
本機(車軸耕うん式)には、緊急停止装置もデッドマン式クラッチも装備されていなかった。さらに、主クラッチが、握ると「切」、離すと「入」となるタイプであったため、転倒時に主クラッチを「切」にできず、機械を停止することができなかったものと考えられる。

事故防止のポイント
今回の機械には、手を離すとクラッチレバーが戻って動力が切れるデッドマン式クラッチが備えられていなかった。デッドマン式クラッチを備えたものであれば、巻き込まれの可能性が低く、より安全性が高まる。

2014年5月 70代男性 乗用型トラクター

事故の状況
雨が降り、ぬかるんだ農道を移動中にほ場横の河川に転落し、横転したトラクターの下敷きとなった。搬送先の病院で死亡。

推測される事故原因
雨のため農道がぬかるんでいたことで、トラクターが操縦不能な状態に陥り、河川側に横転してしまったと考えられる。

事故防止のポイント
地盤のゆるいと思われる農道などはなるべく走行しないことが望ましい。走行する際は、走行速度を抑え、片ブレーキとなっていないか、前輪倍速などの機能となっていないかなどの確認をしっかりと行う。安全フレーム装着機はシートベルトを併用することでさらに安全となる。

2015年4月 60代男性 乗用管理機

事故の状況
作業後、次のほ場へ移動のため、畦を乗り越えようとして後方に転倒。機械の下敷きとなり、死亡。

推測される事故原因
薬液タンクに薬液が残り、機械の重心が高い状態で畦を乗り越えようとしたことや、機体バランスに対して畦の段差が高かったために後方転倒したことなどが推測される。

事故防止のポイント
車高が高い機械であり、薬液が残った状況ではさらに重心が高くなり、転倒しやすい状態になる。段差を乗り越える場合は、適正なアユミ板の使用を心がける。前後進の方向、走行速度などにも気をつけたい。遠回りでも、傾斜の緩やかな出入口まで移動する方法も考えられる。また、あらかじめ、ほ場の出入口を整備しておくことが必要。

わたしたちは農業機械のプロ集団です!

安心して農業機械を使うためには、日ごろの点検・整備が重要です。農業機械のことは、JA農機センターにおまかせください。

●農機センター和田
(島内・島立・新村・和田・神林・笹賀地区)
☎47-3489

●農機センター東部
(中山・芳川・寿・女鳥羽・山辺地区)
☎26-3080

●農機センター今井(今井地区)
☎59-1081

●農機センター山形(山形地区)
☎98-3153

●農機センター四賀(川手・四賀地区)
☎64-4764

●農機センター朝日(朝日地区)
☎99-2714

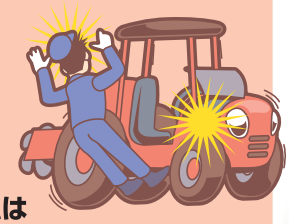
●㈱協同機械化センター本店(波田地区)
☎92-2277

●㈱協同機械化センター筑北支店(筑北地区)
☎67-2081

営業時間 8:30~17:30

なくそう!農作業事故 農業機械安全作業5原則

その1 取扱説明書をよく読んで正しい操作を身につけよう



その2 点検確認は必ずエンジンを止めてから

その3 日常点検を忘れずに

その4 「大丈夫だろう」運転は危険。十分安全を確かめよう

その5 作業はピッタリ体にあった服装で。ヘルメットの着用も忘れずに

夏本番！ JA松本ハイランドすいかの季節がやってきました！

夏の主役が登場！ 露地すいかの出荷スタート

露地栽培された「JA松本ハイランドすいか」の出荷が7月6日から始まりました。4月の低温の影響で交配作業が1週間ほど遅れたものの、5月以降は好天に恵まれ、気温が高く日照量も多かったことから生育が回復。昨年と同時期の出荷開始となりました。初日は5戸の生産者が1500玉をすいか共選所へ持ち込み、検査員が目視検査をしたあと、内部品位センサーで糖度や熟度を測り、空洞果などを選別しました。出荷は9月中旬までつづき、102万ケース、27億円を販売する計画です。

手際よくすいかを下ろす生産者

すいか村オープン 初日から大盛況

7月11日、あぐり資材センター和田前広場で「すいか村」がオープンしました。午前9時の開村と同時に待ちわびた地元住民や県内外の観光客などでにぎわいました。今年は3軒のすいか農家が、朝収穫したばかりの新鮮なすいかを販売しているほか、内部品位センサーを通した高品質な「JA松本ハイランドすいか」の直売テントもならんでいます。来場者は「毎年楽しみにしている。試食がたくさんあり、食べくらべながら買うことができるのでありがたい」と話しました。すいか村は8月19日まで営業しています。

試食をすすめながら会話が弾む対面販売

サッカーJ1松本山雅FCにすいかを寄贈

夏本番を迎え、厳しい暑さのなかで練習や試合をつづけている選手たちの水分補給や夏バテ防止に役だててもらおうと、7月14日にサッカーJ1の松本山雅FCにJA松本ハイランドすいかを寄贈しました。伊藤茂組合長は「すいかを食べて順位を1つでも上げてほしい。地域の願いでもあるのでがんばって」と激励し、㈱松本山雅の神田文之社長に大玉のすいか12玉を手渡しました。5年前から毎年行っている活動です。

すいかを手渡す伊藤組合長（左）

毎年恒例「すいか祭り」

7月18日と19日、すいか村の会場で恒例の「すいか祭り」を開催。「JA松本ハイランドすいか」のテーマソングが流れる会場には県内外から旬のすいかを求めて大勢が訪れ、駐車場は満車状態がつづきました。

すいかの早食い競争や重量当てクイズのほか農産物即売会などさまざまなイベントを行い、盛り上がりました。

早食い競争で盛り上がる会場

東京・大阪ですいかをトップセールス

JA松本ハイランドすいかをPRするため、7月16日と17日、大阪中央卸売市場の大果大阪青果㈱と東京中央卸売市場大田市場の東京青果㈱でそれぞれ伊藤茂組合長がトップセールスを行いました。伊藤組合長は「糖度が高くシャリ感のあるすいかに仕上がっている。農家が再生産の意欲がわく価格で取り引きをお願いしたい」と呼びかけ、試食を振る舞いながらPRしました。

すいかをPRする伊藤組合長

もも「赤宝」目揃会

統一規格で高品質なももを消費者へ

もも・新興果樹部会は7月8日、露地栽培の「松本ハイランドフルーツ」の先陣を切って、早生品種のもも「赤宝」の目揃会を果実共選所で開き、24人が出席。また、22日には主力品種の「あかつき」と「白鳳」の目揃会も行いました。

今年は3万9000ケース（1ケース5kg）を地元や中京方面に出荷し、販売額は1億300万円を計画しています。

「赤宝」の出荷規格を確認する生産者（7月8日）

農家組合長全体研修会

役割を確認して活動を活性化

7月18日、農家組合長全体研修会をグリンパルで開き、184人が出席。農家組合長会長会の塩原至会長はあいさつで「農業・農協改革やTPPなど、農業を取り巻く環境は大きく変化している。動向を注視しながら農家組合とJAが連携して活動していくことが必要」と述べました。

研修会では、農家組合の役割や「モデル農家組合」の活動事例を報告したほか「女性参画センター運営会議」の代表者が活動内容を発表しました。また、東京大学の鈴木宣弘教授が講師を務め「日本の農業が進むべき道」と題した講演会も行いました。

熱心に研修を受ける出席者

果菜類目揃会

手取り向上にむけて規格を徹底

果菜部会は7月9日、スイートコーンや露地きゅうりなどの果菜類の目揃会を笹賀予冷庫で開き、生産者や市場関係者ら150人が出席。小野靖彦部会長は「品質管理を徹底し、JA松本ハイランド産として間違いのないものを出荷してほしい。手取り向上にむけて、規格の徹底をお願いしたい」と呼びかけ、田中均常務は「JAとして、生産者の期待に応える販売を行っていく」と話しました。

品目ごとに分かれて出荷規格を確認した

グラジオラス目揃会

生産拡大に追い風

花き部会グラジオラス専門部は7月14日、山形支所で目揃会を開き、生産者ら36人が出席。出荷規格や選別基準、荷づくりの注意点などを確認しました。

今年は、7月から10月にかけて200万本を東京、大阪、名古屋などへ出荷し、1億2000万円を販売する計画です。中村一博専門部長は「若い生産者も増えて栽培面積も広がり、頼もしい限り。産地全体で自信を持って栽培に取り組みたい」と話しました。

荷づくり方法を確認する生産者

農機具等リース応援事業説明会

農業者の所得増大にむけた事業を展開

農林中央金庫が主体となり、JAグループ全体で取り組みをすすめる「農機具等リース応援事業」（愛称＝アグリシードリース）の第1回募集が7月1日から始まりました。農機具などのリース料の一部を助成することで地域の農業を応援することを目的としたものです。

当JAでは7月1日に事業の説明会をグリンパルで開き、生産者ら28人が出席。助成対象品目や必要となる作付面積などを生産者に説明しました。

事業の内容を確認する参加者

がんばっています！ モデル農家組合活動の紹介

今井支所の堂村農家組合は7月11日、農作業の合間にできるストレッチや軽い運動を紹介し、健康な体づくりをすすめようと「農家のためのストレッチ教室」を堂村公民館で開き、45人が参加。松本大学から講師を招きタオルを使ったストレッチや、自宅で手軽にできる運動を学びました。小松茂幸農家組合長は「簡単にできるように見えるが、やってみるといい運動になる。これからもつづけて取り組んでいきたい」と話しました。

タオルを使ったストレッチを学ぶ参加者

地域とJAを結ぶ 1支所1協同活動

共同作業で強まる生産者との絆

島内支所では地域の農業振興をすすめるとともに、生産者とJA職員が共同作業をすることで交流を深めようと、協力して里いもの栽培を行っています。7月1日、5月に定植した里いものマルチシートの撤去作業と草とり作業を行い20人が参加。協力して作業に汗を流しました。支所農家組合長会の提案で始めたもので収穫祭なども計画しています。

協力して作業をすすめる参加者

地域と交流を深めるきっかけづくり

島立支所は7月3日、支所農家組合長会と協力してスイートコーンの播種作業を行い14人が参加。清水正明農家組合長会長が所有するほ場の一部を借り受け、協力して4000本分の種をまきました。8月下旬には保育園児を招き、スイートコーンのもぎ取り体験を計画しています。清水農家組合長会長は「この活動が地域との交流を深めるきっかけになってくれたらうれしい」と話しました。

ていねいに作業をすすめた

田んぼオーナー草刈り作業

とった草ではがきづくりにも挑戦

「みどりの風田んぼオーナー」の草刈り作業を内田地区のオーナー田で7月25日に行い、オーナー40人が参加。米穀指導係が生育状況を説明したあと、鎌を使って畦の除草作業を行いました。また、刈り取った草と牛乳パックを使って「紙すき」にも挑戦。緑色の草の繊維が入った涼しげなはがきをつくりました。昼食には、「ぬか釜」の炊きたてごはんを用意し、たまごかけごはんをつくって食べました。

きれいなはがきができ上がった

草刈りに汗を流すオーナー

市街地の保育園で食農教育活動

子どもたちに「いのち」の大切さを伝える

酪農部会は7月14日、市街地に居住している子どもたちに地元の酪農について理解を深め、農産物の生産や食、「いのち」について学んでもらおうと、深志保育園で園児110人に食農教育活動を行いました。牛乳をプレゼントしながら農産物について話したあと、園庭に小沢幸治部会長が飼育する子牛などを連れて行き、園児にふれてもらいながら交流を深めました。

牛乳を受け取り笑顔の園児

りんごオーナー開園式

真っ赤なりんご いまから楽しみ

7月25日、今年で16年目を迎えた「波田地区りんごオーナー」の開園式を波田果実集荷所で行い、県内外から260組、1,000人のオーナーが参加。会場では「JA松本ハイランドすいか」を振る舞い、オーナーは「旬」の味を楽しみながら名前などを書きこんだプレートを作製。自分の樹に取り付けました。26日には「アルプスりんごオーナー」の開園式と樹の抽選を寿、今井地区のりんご園で行い、250組のオーナー、1,000人が訪れました。

手づくりのプレートを掲げるオーナー

持続可能なJAビジョンづくり勉強会

後期中期計画の策定にむけて課題を共有

第4次長期構想後期中期計画樹立にむけた「持続可能なJAビジョンづくり勉強会」を7月8日に本所で開き、常勤役員や部長ら36人が出席。現在の課題を共有するとともに地域の中でJAの存在意義をさらに高めていくことを全員で確認しました。髙山拓郎専務は「いまのJAに何が足りないのか知ることが大切。学んだ内容を職場内で共有し、後期中期計画樹立に生かしてほしい」と話しました。

後期中期計画樹立にむけて意識を統一した

特殊詐欺を未然防止

地域に密着した店舗づくりで組合員の財産を守る

6月30日、特殊詐欺の被害未然防止に貢献した功労として中山支所と芳川支所が松本警察署から感謝状の贈呈を受けました。どちらの事例も、相談を受けたJA職員が警察に通報して被害を未然に防止しました。今後も地域に密着した相談しやすい店舗づくりをすすめていきます。

感謝状を受け取る有賀修一郎中山支所長(右)と百瀬勝郎芳川支所長

居宅介護支援事業所が移転

社会福祉法人松本ハイランドの居宅介護支援事業所がグリンパルから和田支所旧生活店舗に移転。7月1日に開所式を行い、60人が参加しました。開所式終了後には、新村地区のボランティア団体がオカリナの演奏を披露し、みんなで「ふるさと」を合唱して開所に花を添えました。

ご家族の介護のご相談は、ゆめの里和田福祉相談センター(☎)88-0013まで。

あいさつする髙山拓郎理事長(当JA専務)

地元企業と連携して農産物をPR

アルピコホールディングス㈱と協力した農産物の販売活動を長野自動車道の梓川サービスエリアと諏訪湖サービスエリアで7月20日に初めて行いました。特設ブース「すいか村SAマルシェ」を設置し、すいかをはじめとした農産物や加工品をならべて県内外の観光客などにPRしました。

大勢にPRしたブース(梓川SA)

福祉施設でボランティア

女性部入山辺支部のボランティアグループ「陽だまりの会」が「うつくしの里」でボランティア活動を行いました。メンバー10人が訪れ「大阪すずめ」のおどりを披露。施設利用者といっしょに歌やおどりを楽しみながら交流しました。

みんなで楽しい時間をすごした

女性通信員 岡田

年金友の会の旅行で交流

岡田支所年金友の会は7月9日と10日に1泊2日の親睦旅行を開催し、23人が参加しました。伊勢神宮を参拝したほか、宿泊先では温泉で疲れをいやし、おいしい料理に舌鼓をうちながら交流。買いものなども楽しんで親睦を深めました。

東海道五十三次の「関宿」も散策した

信州大学生にJAの役割を伝える

6月23日、信州大学の現代経済学特講で髙山拓郎専務が「地域密着型金融機関としてのJAの役割」と題し、農業金融からの取り組みについて講義を行いました。出席した学生49人に、JAは営農やくらしなど、さまざまな目的のために資金を融通しあう「相互金融」の役割を果たしていることや地域金融機関として地域社会、経済の持続的な発展に貢献していることを伝えました。

信用事業の取り組みを説明する髙山専務

快適生活ご提案会

組合員や地域住民のよりよいくらしを応援するため、JAが扱う経済事業を一堂に集めたイベント「快適生活ご提案会」をグリンパルで7月3日と4日に開きました。家電製品や衣類などを特価で販売したほか、エーコープマーク品の試食販売も実施。来場者は「いろいろな商品が集まっていて、担当者が一つひとつていねいに説明してくれるからありがたい」と話しました。

エーコープマーク品の試食販売が大好評だった

くん製づくりに挑戦 女性通信員 今井

若妻大学の共同研究グループのひとつ「食」グループは7月1日、今井支所でくん製づくりを行い5人が参加。市販のくん製機のほか、ダンボールや中華鍋を使ってつくりました。参加者は「身近なものでくん製ができてびっくりした。自宅の庭でもつくってみたい」と話しました。

でき上がりに大満足だった

ディズニーゲストサービス研修会

CS(組合員・利用者満足度)向上にむけ、東京ディズニーランドなどを運営する㈱オリエンタルランドの企業理念などを学ぶ「職員特別セミナー」を7月10日に実施。職員38人が参加し、組合員や利用者へ「最高の満足」を提供するための考え方や行動などについて学びました。参加した職員は「すぐに実践できることも多かったので、学んだことを業務にしっかり生かしたい」と話しました。

講習を受ける参加者

広報活動に対する意見を出しあう

7月2日、広報委員会を本所で開き、組織代表者など組合長から委嘱を受けた14人が出席。担当者が、広報誌「夢あわせ」の編集方針や特集内容について説明するとともに、日本農業新聞への送稿数が県内JAのトップであることなどを伝えたほか、委員がそれぞれの立場から意見や要望を出しあいました。出された意見は、今後の広報活動に生かしていきます。

説明に耳をかたむける委員

販売用農薬盗難事件の経過と再発防止策

松本ハイランド農業協同組合
代表理事組合長　伊藤 茂

平素は当組合の運営並びに事業に対しまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

7月8日に報道機関を通じ公表いたしましたが、当組合で保管しておりました農薬の盗難事件が発生し、組合員をはじめ利用者ならびに地域のみなさまに多大なご迷惑、ご心配をおかけすることになりましたことを深くお詫び申し上げます。

当組合では、今後、このような事態を起こさないよう、発生原因を徹底究明し、再発防止策の構築に取り組んでおります。以下経過についてご報告いたします。

■経過

役職員一人ひとりの認識の甘さに加え、内部けん制機能が十分に発揮されていなかったことなど、管理態勢の不備が原因であります。

当組合では、コンプライアンス（法令順守）を経営の最重要課題として取り組んでまいりましたが、法令に基づく適正な管理を怠っていたことによりこのような事態を引き起こしたことを重く受け止めております。

■再発防止策

①農薬の受払管理について、入出庫があった品目については、当日在庫数量確認を実施し、厳正な在庫管理を徹底いたします。

②保管場所での数量管理を基本としていましたが、定められた様式に基づき、保管管理状況を本所に報告することにより、課題の洗い出しを都度実施し、法令に基づいた管理を徹底するとともに事務ミスの発生を抑止してまいります。

③役職員一人ひとりの資質向上にむけて、内部研修の充実および外部研修への参加を積極的に行い、法令および内部規程、規約また事務手続等の周知と徹底を図ります。

④品目ごとの売上の分析により、適正な在庫数を保持することで商品管理に万全を期し、組合員・利用者のさらなる利便性向上に取り組んでまいります。

当組合では、今後、このようなことが起こらないよう、また組合員・利用者に安心してご利用いただけるよう、役職員一丸となって再発防止に全力で取り組んでまいります。今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

輝け! 青年部 **若き地域のヒーローたち**

JA YOUTH

福島県の子どもたちへすいかをプレゼント

7月15日、東日本大震災で被災した子どもたちが四賀地区で寮生活をしている「まつもと子ども留学」にすいかをプレゼント。後継部員ら6人が訪れて手渡しました。また、みんなですいか割りなどを行って交流。参加した子どもは「おいしいすいかをありがとう。すいか割りができて、とても楽しかった」と話しました。親元を離れて生活している子どもたちを元気づけようと昨年から始めた取り組みで、今後も後継部を中心に支援をつづけていく予定です。

すいか割りを楽しむ子ども

日本の農業を守ろう!
JAのTPP通信

県民集会に1500人が集結

JA長野県グループなどTPPに反対する37団体が主催した「TPPに関する国会決議の実現を求める長野県民集会」が7月20日に長野市で開かれ、1500人が集結。当JAからは常勤役員ら76人が参加しました。国会決議の実現にむけた運動を強力に展開することを決議したほか、適切な情報開示などを政府へ働きかけるよう県選出の国会議員へ要請。集会後は大型トラクターを先頭にデモ行進を行い、TPPの危険性を広く訴えました。

「我が国の食とくらしを守れ」と声を上げながらデモ行進した

笑顔の花咲く女性たち

女性部役員とJA役職員との交流会

女性部は7月21日、JA役職員とより強固な協力体制を築くとともに、JAの運営に対する具体的な意見や要望などを直接伝えようと、常勤役員・部長との交流会を開催。各支部長とJA役職員ら38人が出席しました。

交流会では、女性部と役職員混合の11チームに分かれてボウリングを行ったほか、「ぶどうの郷山辺」で懇親会を開催。女性部が事前に提出した意見や要望事項に対してJAから回答しました。

白熱のプレーで盛り上がった交流会

税金について学ぶ

女性部島内支部は7月7日、島内支所で「母ちゃんも知っておきたい税金の話」と題した研修会を開き6人が出席。相続税をテーマに、JA職員が講師を務めて基礎控除の額や相続人の範囲、税額の計算方法などについてわかりやすく説明しました。また、練習問題なども行って知識を深めました。参加者は「相続は必ず必要になる手続きなので、とてもためになった。次回もぜひ参加したい」と話しました。

相続について真剣に学んだ

もぎたてっ! **ハイランド娘**

自分のつくったお菓子を販売したい

新村・南新中　**青木 結花さん**

幼いころからお菓子づくりが好きだった結花さん。今春、製菓の専門学校を卒業し、松本市内の洋菓子店に勤めています。販売を担当し、催事などで県外に出張することもしばしば。「買ってもらえたときがうれしい」と笑顔を見せます。

休日は花き農家の両親を気づかって家事を積極的に行うやさしい結花さん。お菓子づくりの腕を振るい、マドレーヌなどをつくって家族によろこばれています。「いつか自分のつくったお菓子を販売したい」と夢が膨らみます。

次回は明科支所管内を予定しています

生坂・上生坂　瀧澤　良治さん

人を引き付ける絵を描く

「小学生のころから絵だけはほめられていたんだよ」と笑う瀧澤さん。退職を機に、趣味を持とうと軽い気持ちで油絵を始めましたが、いざ描いてみると、でき上がった作品は満足できるものではありませんでした。そこで、基本的な技術を学ぶために教室に通い出すと、キャンバスの上に題材の内面まで表現する奥深い世界にすっかり魅了されました。以来22年間腕をみがきつづけ、いまでは県内外のコンクールで入賞するほどの腕前です。

作品づくりは、自宅につくった専用のアトリエで行います。題材は花や風景などさまざま。キャンバスにむかうと描くことに没頭し、集中しすぎて、描き終わるとしばらく立てなくなることも。また、納得できる作品に仕上げるまでには何度も色を重ねるため、絵の表面には無数の凹凸が生まれます。「どうやって表現したら、見た人を引き付けられるか考えることが大切なんだ」と真剣な表情です。

自宅の庭では、ばらやぼたん、ゆり、きんせん花などの花が楽しめ、季節ごとの表情を写真代わりにスケッチに残している瀧澤さん。「好きなことをつづけられることは幸せなこと」と話し「いいものができたときのよろこびは格別なんだ。まだまだやめられないね」と創作意欲は尽きません。

次回岡田所管内を予定しています

東京の二科展で入賞した作品のひとつ「教会の見える街」。アトリエには、これまで描いた作品がところ狭しとならんでいる。「完成したときはいいと思っても、飾っておくと気に入らないところが出てくるんだ」と話し「昔は一晩中描いていたこともあった」と懐かしそうに微笑む。

わたしたちのJA

理事会だより

平成27年7月28日・グリンパル

■特別事項

①農薬盗難事件の経過と内部統制の徹底

■附議事項

①第1四半期随時監査の処理顛末
②平成27年度第2四半期決算方針について
③職制規程の改正
④JAまつりの開催
⑤大口貸出金の契約

■報告事項

①6月末事業実績と月次決算結果
②JAいしのまき仮設住宅への訪問
③コンプライアンスプログラムの取組状況
④労組夏期要求
⑤総合資金貸越の今後の対応方針
⑥不良債権回収状況
⑦農産物販売状況

JAの状況
平成27年
6月末現在

正組合員数	22,885人	共済保有高（長期）	9,300億8千万円
准組合員数	9,127人	（年金）	79億9千万円
貯金	2,547億8千万円	農産物販売高	34億2千万円
貸出金	620億8千万円	購買品利用高	45億円

みんなの声 みなさんからいただいたお便りを紹介します

■孫にメロメロです。遊んだあとに「すいかが食べたい！」と叫んでいた孫。キャンペーンに応募したので、すいかが当選するとうれしいです。
（麻績／福茶さん）

編「いまが旬」の「JA松本ハイランドすいか」。おいしいうえに暑さを体のなかからやわらげて元気にしてくれます。地元で採れた旬の野菜やくだものを食べて元気に夏を乗り切りましょう。

■天気のよい日は草との戦いです。
（明科／久保田直子さん）

■かぼちゃの花が咲きだしました。数種類の品種をつくってみました。どのような形、色、味のものができるのでしょうか。JAのおすすめの本とにらめっこしながら奮闘中です。
（麻績／H・Mさん）

■今年は梅が少ししか取れませんでした。残念です。
（明科／滝沢けいさん）

■数年来苦しめられた栗のカイガラ虫がようやく閉じ込められました。今年は元気な枝葉が茂っているのがうれしいです。
（今井／古池健一さん）

編7月の前半は涼しい日もありましたが急に真夏の暑さがやってきました。いくつもの台風が発生したりと気象状況の変化に、人間も農作物も体調管理が大変ですね。もうすぐ収穫の時期を迎えます。自然災害がおこらないよう、無事に実りの秋が迎えられるといいですね。

俳句・川柳・短歌

●バラ一輪ブロックベイの上に咲き
みんなえがおで通り過ぎ行く
（寿／百瀬志津子さん）

●加齢臭列車内には我一人
（麻績／N・Yさん）

●つたなき句
活字となりてほほゆるむ
（朝日／林多恵子さん）

広報誌「夢あわせ」表紙写真募集中！

みなさんの撮影した写真で「夢あわせ」の表紙を飾ってみませんか。詳しい募集要項はホームページをご覧ください。

今月のプレゼント

まごころ商品券（3,000円分）を1名様にプレゼント

■7月号のクイズの答え
18

■6月号の当選者
角脇 代志央さん（芳川）

〒390-8555（住所不要）
JA松本ハイランド
「みんなの声」係

■応募の締切
9月8日(火)
消印有効

- クイズの答え
- 住所・氏名・年齢
  職業・電話番号
- 身近なエピソード
  イラストなど
- 本誌・JAへのご意見
  ・ご要望、参考になった
  ・ならなかった
  コーナーなど

みなさんの声をひと言添えてください

Eメールでもお気軽にどうぞ。
kouhou@mhl.nn-ja.or.jp

クイズに答えてプレゼントをもらおう！

問題 露地栽培の「JA松本ハイランドすいか」の出荷が7月6日から始まりました。出荷は9月中旬までつづき、●●●万ケース、27億円を販売する計画です。●に入る数字を答えてね。
※ヒントはハイランドほっとニュース！

お便りをお待ちしています！

身近なエピソード、地域の情報、イラスト、短歌・俳句、赤ちゃん・ペットの写真など、どしどしお寄せください。また広報誌各コーナーへのご質問やご感想などもお寄せください。

※作品・写真は返却できません。お便りは、誌面に掲載する場合があります。
※応募で記載された個人情報は「みんなの声」への掲載、プレゼントの抽選・当選者発表以外には利用いたしません。

誌面でつながる JAいしのまき通信

姉妹JA「JAいしのまき」管内のホットな話題を紹介します

フレッシュミズ新組織「さくら会」初活動

女性部の若手不足の解消をめざす

JAいしのまき女性部が今年4月に立ち上げたフレッシュミズ会の新組織「さくら会」が7月11日、初めての活動を行い、会員20人が参加しました。㈱日本ヴォーグ社の大谷妙子さんを講師に招き、まっ白な磁器の皿やカップを好きな絵柄のシールなどで飾る、ポーセラーツ教室を開催。参加者は「同じデザインのシールでも飾り方はみんなちがって、個性が出ておもしろかった」と話すなど好評でした。

「さくら会」は、同JA女性部の若手不足の解消と、フレッシュミズ会の体制強化にむけて立ち上げた組織で、会員数は22人。今後は各イベントでフレミズ会の魅力を伝えながら会員を募っていきます。

作品を手に笑顔の「さくら会」の会員ら

よい食パク博
地元のおいしさ食卓に

参加無料! 楽しいイベント盛りだくさん!

日時 8月22日(土)11:00～15:00
場所 グリンパル
★地元のお米でおにぎりをつくろう
★直径90センチの巨大カステラづくりに挑戦
★新鮮野菜をディップで楽しもう

お問い合わせ
福祉文化課 ☎26-2301

松本農林業まつり協賛 第25回東山部くだものまつり

日時 9月12日(土) 8:00～12:00(予定)
場所 ぶどう山辺集荷所

ぶどう、りんご、なしなど旬の「松本ハイランドフルーツ」を大特価販売!
きのこ、山辺ワインなどの特産品や地元産の米、野菜もありますよ!

お問い合わせ 山辺営農生活課 ☎32-3540

JA松本ハイランド夢あわせ大学 組合員セミナー 受講料無料

詳しくは今月号の折込チラシをご覧ください

組合員のみなさんを対象にしたセミナーを開催します。ふるってご参加ください。

世界のなかのニッポン
～地方創生の推進エンジンとしての農業を考える～

講師 外交ジャーナリスト／作家 手嶋龍一さん

日時 平成27年 10月17日(土)13:30開講
場所 グリンパル 定員 300人(先着順)
後援 信用専門委員会

NHKワシントン支局長として9･11テロを11日間にわたって中継。2005年にNHKから独立して発表した「ウルトラ･ダラー」、姉妹篇「スギハラ･ダラー」はあわせて50万部の大ヒットに。また佐藤優氏とのインテリジェンス対論の三部作 「動乱のインテリジェンス」「知の武装～救国のインテリジェンス～」「賢者の戦略～生き残るためのインテリジェンス～」(新潮新書)は21世紀のいまを読み解くシリーズとしてベストセラーになっている。
受講希望の方は各支所へお申込みください。定員になり次第、締切りとなります。

お問い合わせ 各支所または組合員広報課 ☎88-1232(直通)

休日の農業機械トラブルもJAにおまかせ!

下記の期間は、日･祝日も修理受け付けいたします
営業時間 8:30～17:30

9月13日(日)～10月4日(日)

- ●農機センター和田(島内･島立･新村･和田･神林･笹賀地区) ☎47-3489
- ●農機センター東部(中山･芳川･寿･女鳥羽･山辺地区) ☎26-3080
- ●農機センター今井(今井地区) ☎59-1081
- ●農機センター山形(山形地区) ☎98-3153
- ●農機センター四賀(川手･四賀地区) ☎64-4764
- ●農機センター朝日(朝日地区) ☎99-2714
- ●㈱協同機械化センター本店(波田地区) ☎92-2277
- ●㈱協同機械化センター筑北支店(筑北地区) ☎67-2081

※生育状況によって実施期間が変わる場合があります

JA虹のホール芳川を改装します

小規模葬むけ式場などのリニューアル工事を行います。ご迷惑をおかけいたします。

工事期間
9月1日から(おおむね4カ月間)

※工事期間中、休館となる期間があります。休館期間中の葬儀などの施行は「JA虹のホールはた」または「JA虹のホール岡田」で承ります。詳しくは下記までお問い合わせください。
※別館通夜施設「彩夕館」は上記期間中も通常通り営業いたします。

お問い合わせ
JA虹のホール芳川 ☎85-0022

山辺ワイナリーだより 2013 山葡萄

360ml
1,720円 新発売

山葡萄が持つ野性味のなかに酸味と渋味が心地よく広がります。飲みやすい味わいに仕上がりました。ぜひお楽しみください。

お問い合わせ
山辺ワイナリー ☎32-3644
営業時間 8:30～17:30 年内無休
※レストランマリアージュは10:00～ 水曜日定休

夏の休日ローン相談会

8月22日(土)･23日(日)
9:00～17:00

開催支所 各支所
※中山支所管内の方は寿支所へ、生坂支所管内の方は明科支所へお出かけください

来場者には「サザエさんグッズ」をプレゼント!

住宅･マイカー･リフォームなどローンのことならなんでもご相談ください。

総合相談センターは通年･土日も営業中! ☎25-7281

緊急連絡先

自動車共済事故受付(24時間・365日)
0120-258931

プロパンガス(24時間対応)
☎26-3015

葬儀(24時間受付)
JA虹のホール 芳川:☎85-0022
事前相談会 各ホールで随時受付中
岡田:☎45-0700
はた:☎92-3414
筑北:☎67-1155

CDカード(キャッシュカード)
夜間・休日事故受付
0120-024040

JAカード(クレジットカード)**事故受付**
0120-159674(24時間対応)

ENEOSカード(クレジットカード)
事故受付(24時間・365日)
TS3(トヨタファイナンス)
☎052-239-2811
NICOS(三菱UFJニコス㈱)
0120-159674

くらしの連絡先

灯油の定期配送
中西部配送基地 ☎47-0105
東部配送基地 ☎36-5206
四賀・川手配送基地 ☎64-4560
筑北配送基地 ☎66-3939
朝日配送基地 ☎99-2018

料理の注文
食彩センター ☎87-4030

JAまごころ宅配の注文変更・休止など
生活購買センター
0120-157118

家電製品の注文・修理
LPガス住設課 ☎26-3015

CATV テレビ松本

毎日放送中!!
JAお知らせ番組(15分)
「JA松本ハイランド情報」
6:30、7:30、12:00、18:30、23:30
(日曜日は6:30、7:30、14:00)

JAのホットな話題をお茶の間に!
JA企画番組「JAグリーンタイム」
8月27日(木)・9月10日(木)(各15分)
13:30、17:30、21:30、24:30

米・KOME通信

平成26年産米の出庫状況
(平成27年7月27日現在)

集荷数量	175,363俵(新規需要米含む)
出庫数量	150,025俵
出庫率	86%

JAカレンダー(8月17日～9月17日)

■くらしを応援! みんなの相談会

8	19日(水)	結婚相談会(グリンパル13:30～17:00)、年金相談会(本郷支所9:30～15:30)
	26日(水)	土地建物相談会(グリンパル13:30～17:00、要予約)
9	4日(金)	年金相談会(麻績支所9:30～15:30)
	8日(火)	年金相談会(波田支所9:30～15:30)
	9日(水)	結婚相談会(13:30～17:00)、土地建物相談会(グリンパル13:30～17:00、要予約)
	10日(木)	年金相談会(新村支所9:30～15:30)
	15日(火)	年金相談会(芳川支所9:30～15:30)
	17日(木)	年金相談会(聖南支所9:30～15:30)

お問い合わせ 結婚相談会は福祉文化課 ☎26-2301
土地建物相談会は不動産センター ☎28-3060
年金相談会は各支所金融共済課

■遊びに来てね! JAおすすめイベント

8	19日(水)	すいか村最終日(あぐり資材センター和田前広場)
	22日(土)	よい食パク博(グリンパル11:00～15:00) 住宅ローン相談会(各支所9:00～17:00、～23日)
9	12日(土)	東山部くだものまつり(ぶどう山辺集荷所)、松本農林業まつり(あがたの森公園)

■組織のみなさんの動き

8	18日(火)	幸水目揃会
	21日(金)	教育文化活動実践リーダー研修会
	25日(火)	担当理事会
	27日(木)	理事会
	29日(土)	ナイヤガラ・大粒種目揃会
9	1日(火)	ハローキャンペーン
	12日(土)	ぶどう消費宣伝会(～13日)

■野焼きは全面禁止! 廃プラなどの回収日程

8	21日(金)	朝日地区(野菜集荷所13:30～15:30、農ビ・その他)
9	9日(水)	寿地区(寿野菜集荷所13:30～15:30、農ビ・農ポリ)

JAファーム今井だより

JAファーム収穫資材大放出セール
9月11日(金)～13日(日)

秋の収穫資材大集合!
抜群の品ぞろえでご来店をお待ちしています。

ファームカレッジ開催
(参加費200円、要事前予約)

秋冬野菜の栽培方法教室
秋からの栽培方法を学んでおいしい野菜をつくりましょう
日時 8月22日(土)13:30～

お問い合わせ JAファーム今井 ☎59-1088
営業時間 8:00～18:30
8月31日(月)は上半期決算棚卸のため休業

和田農産物加工施設利用会員募集中!

募集期間
8月31日(月)まで

年会費
1人 1,000円
※年会費のほかに所定の利用料がかかります

入会方法 申込書に必要事項を記入のうえ、支所窓口へ提出してください

詳しくは今月号の折込チラシをご覧ください

食あわせ8
JA松本ハイランド
Vol.277/August.2015

旬・感クッキング

夏はさっぱりと ズッキーニとトマトのスープ

材料（4人分）

- ズッキーニ ―― 1本
- トマト ―― 1個
- ベーコン ―― 2枚
- 玉ねぎ ―― 1/2玉
- 固形スープの素 ―― 2個
- 水 ―― 800cc
- 塩・こしょう ―― 適量
- オリーブ油 ―― 小さじ2

つくり方

①ズッキーニは1㎝角に切り、玉ねぎはスライスする。トマトはヘタを取り湯むきをしてくし切りにする。ベーコンは2㎝幅に切る。

②鍋にオリーブ油を熱し、①を入れて中火で全体がしんなりするまで炒め、水を加える。

③②へ固形スープの素を入れ、煮立ったらアクを取り3～4分煮る。塩・こしょうで味をととのえ器に注ぐ。

ズッキーニの主な栄養素と効果

カリウムやビタミンを含み、高血圧予防やむくみ解消に効果的。風邪予防や夏バテ防止の効果もある。貧血や肌荒れ予防、動脈硬化・脳梗塞・心筋梗塞予防も期待できる。

生活指導普及員の地産地消レシピ

新村・北東　**原田 晶子さん**

ズッキーニは油との相性がよいのでオリーブ油で炒めると風味が増します。煮込むことで具材の旨みが溶け出すうえ、トマトの酸味でさっぱりといただけるスープです。冷やしてもおいしいですよ。食欲の落ちる夏にぴったりの一品。ぜひお試しください。

地元の「うまい!」がここにあります

ファーマーズガーデン

ファーマーズガーデンやまがた直売部会員

山形・小板　**中村 みち子さん**

白ねぎと小ねぎを出荷しています。たい肥をたっぷり使って土づくりからこだわり、甘みの強いねぎづくりをめざしています。また、安全安心を心がけ、JAの営農指導係などに相談して農薬の使用に細心の注意を払っています。今月下旬からは自慢の白ねぎがならびます。みなさんぜひ味わってくださいね。

やまがた	☎98-5231	8:00～17:30	月曜定休
あかしな	☎62-1230	8:00～17:30	
うちだ	☎88-3012	8:00～18:00	
やまべ	☎32-3644	8:30～17:30	無休

旬菜NAVI

イベント情報！全店で開催

モゥ～！とこトン食べてね！お肉の日

8月15日・16日

国産農産物を大切に！

スマートフォンでアクセス

松本ハイランド農業協同組合
〒390-8555 長野県松本市南松本1-2-16
TEL.0263-26-1400 FAX.0263-27-6621
http://www.ja-m.iijan.or.jp/ kouhou@mhl.nn-ja.or.jp

平成27年8月号 毎月10日発行
発行人・伊藤 茂／編集・総務企画部 組合員広報課／制作・バスカル

VEGETABLE OIL INK 大豆油インキと再生紙を使用しています。